

# 東やまと まちづくりニュース

「東やまとまちづくりニュース」は、市民と行政の協働の都市づくりを目指す「東大和市都市マスタープラン」の実現に向けて、市民の皆さんに都市づくりの情報をお知らせしています。



NO. 30

ちよこバスの運行形態の見直し・・・・・・・・・・P1・2



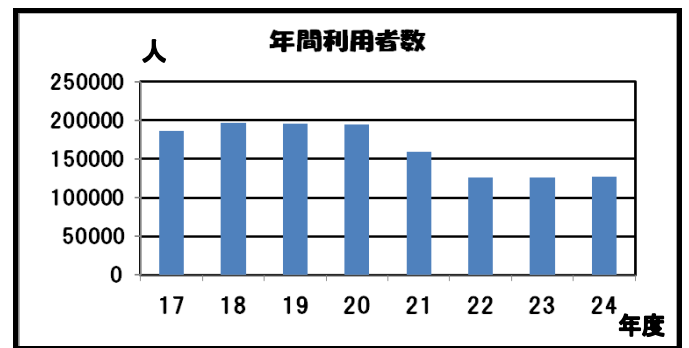
東大和市 都市建設部 都市計画課  
042-563-2111 内線12562  
<http://www.city.higashiyamato.lg.jp>

## ちよこバスの運行形態を見直し、利便性を向上させます！

～市民の皆様さらに愛されるちよこバスを目指して～

### 1 見直しの背景

「ちょこっとそこまで、気軽にお出かけを」という思いを込めたちよこバスは、スニーカーをデザインした小型のかわいいバスです。ちよこバスは、路線バスでは対応できない交通空白地域の解消を主目的に、平成15年2月に運行を開始して以来、延べ約184万人の方にご利用いただいております。運行当初のルートは、市内をコンパクトに循環するバスとして親しまれてきましたが、平成21年9月、ルートを拡大する見直しを実施した後は、運行本数の減とともに利用しづらいとの指摘を多く受け、利用者が減少しました。



### 2 ちよこバスの課題

平成21年9月の見直しにより、右表のとおり年間乗客数は約6万8千人減少しています。

その課題として、次のことがあげられます。

- 課題1 長いルートを長時間かけて回っている。
- 課題2 1時間に1本の運行本数を確保できない。
- 課題3 時間帯によってルートが異なるため、わかりにくい。
- 課題4 定時発でないため、わかりにくい。
- 課題5 東大和市駅、玉川上水駅に乗り入れていない。

➡ 乗客数の減少

	平成20年度 (見直し前)	平成24年度 (見直し後)
ルート延長	10.4km	朝晩10.4km 昼間15.4km
所要時間	約40分	朝晩約40分、昼間約70分
運行間隔	毎時1本	朝晩毎時1本、昼間1時間半に1本
ルート数	1ルート	朝晩と昼間の2ルート
時刻表	同時刻の発車	同時刻の発車ではない
年間乗客数	194,395人	126,702人

朝晩…朝晩ルート 昼間…昼間ルート

### 3 利便性向上の検討

#### (1) 見直しの検討組織

平成24年5月、道路運送法の規定に基づいた東大和市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を設置し協議を行っています。

交通会議の構成	委員16人（学識経験者、市民、バス事業者、国土交通省等関係機関の職員）
---------	-------------------------------------

#### (2) 公共交通に関する市民意識調査の実施

市民の皆様のご意見を把握し交通会議における検討に活用するため、公共交通に関する市民意識調査を実施しました。

#### 【調査方法】

調査対象：市内在住の15歳以上の方  
抽出方法：無作為抽出  
実施時期：平成25年8月

#### 【回収結果】

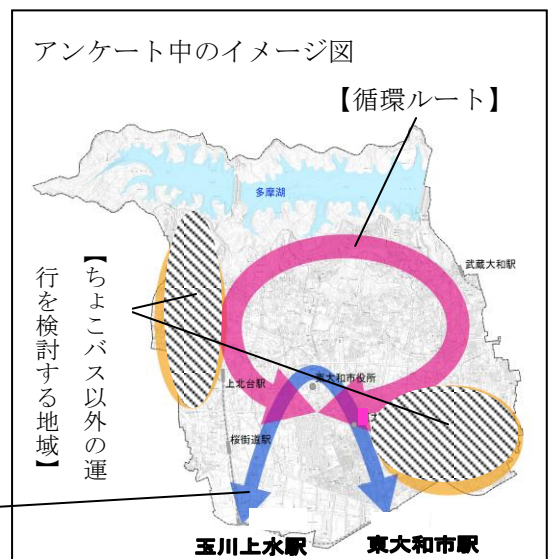
配布数：2,000票  
回収数：723票  
回収率：36.2%

#### 【調査結果の主な内容】

- ①最寄駅 東大和市駅（37%）、武蔵大和駅（26%）
- ②利用頻度 これまでに1・2回（29%）、1年に1・2回（16%）
- ③望むこと ちよこバスのサービスを向上して利用者を増やす（66%）
- ④利用増加の条件 利用しやすい運行ルート（73%）、運行本数の増（66%）
- ⑤ルート検討案（右図）の評価 利便性が向上する（52%）

※詳細については、市のホームページに掲載しています。

〔裏面につづく〕



(3) 市民懇談会の実施

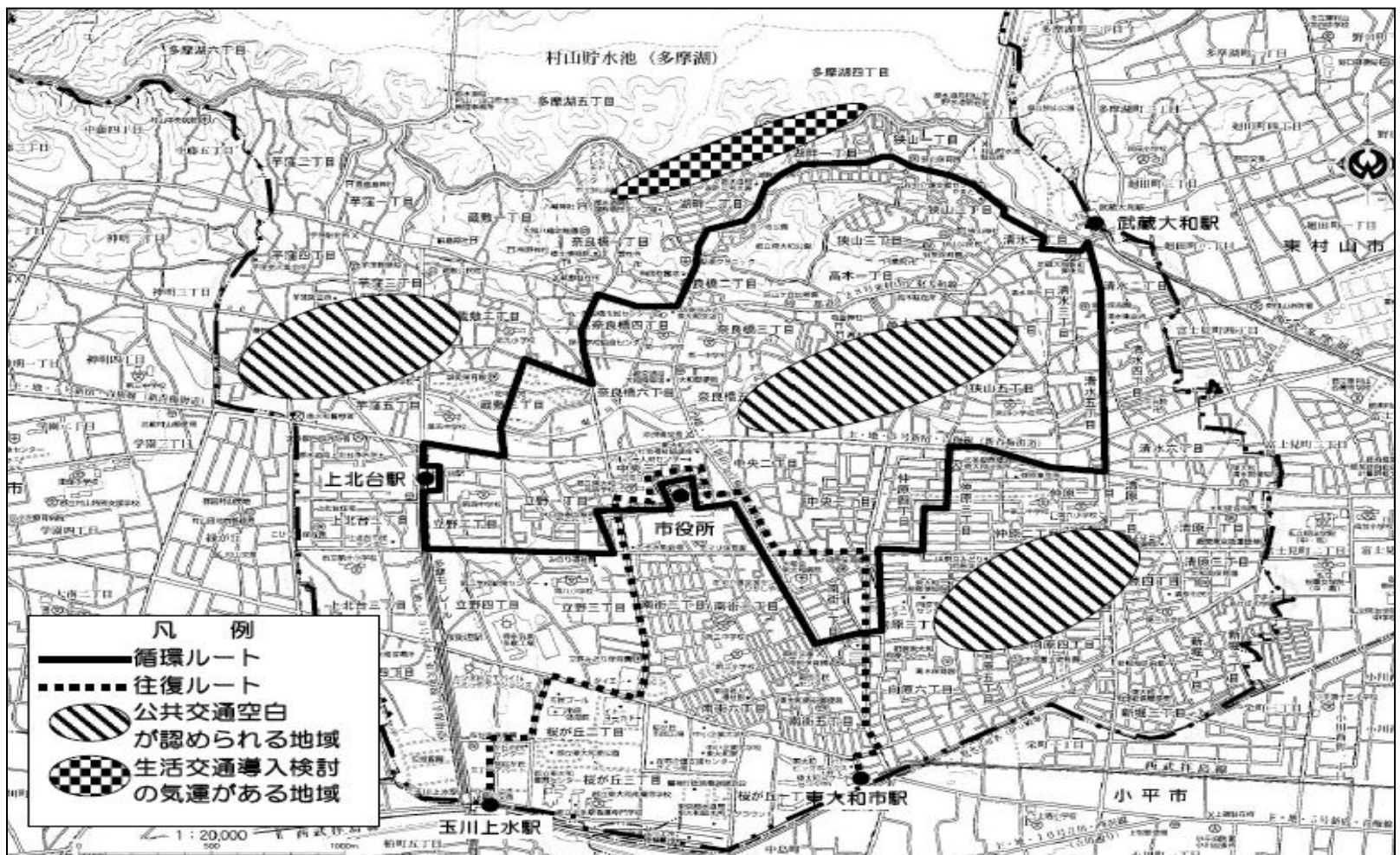
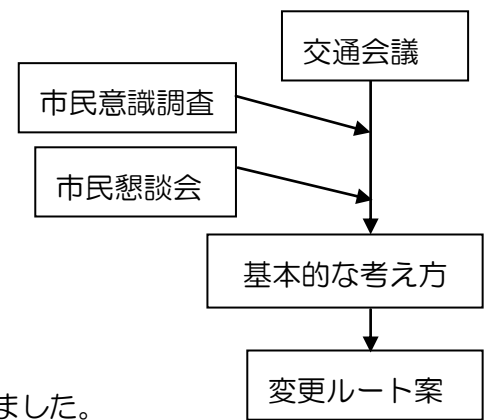
市民の皆様のご意見を把握するため、平成25年8月及び10月、市内5か所で計10回の懇談会を実施しました。懇談会では、運行間隔の短縮など上記「2 ちょこバスの課題」に記した事項について、改善を求める意見が多く寄せられました。

4 交通会議における検討経過

交通会議において次の基本的な考え方に基づきルート変更案の検討を行ってきました。

- ① 距離の長いルートを廃止し、市内をコンパクトに回る循環ルートと駅間を往復するルートの2ルートとする。
- ② 上記①の2ルートは、市役所で結節させて、乗継ぎの利便性を向上させる。
- ③ 東大和市駅と玉川上水駅に乗り入れる。
- ④ 運行間隔は、少なくとも1時間に1本とする。
- ⑤ 路線バスやタクシーと共に市内の公共交通網を形成する。

以上を踏まえ、交通会議において協議した結果、次のとおり変更ルート案の承認を得ました。



※網掛け部分は、地域の機運の高まりに応じて、今後、コミュニティタクシー（バスよりも小さなワゴン車等を使用）等について検討していく地域です。

また、運賃については、多摩地域の市の運賃体系を参考に、①路線バス利用者との公平性を保つこと ②収支を改善し、持続可能な公共交通とすること ③路線バス、タクシーとともに市内の公共交通網を形成していくための整合性を図ることを基本として交通会議において協議した結果、民間路線バスの初乗り運賃（大人180円、小人90円）とすることで承認されました。なお、割安な回数券、1日乗車券の発行を検討しておりますが、詳細については、改めてお知らせします。

説明会（清原・新堀、芋窪地域）のお知らせ

今回の見直しにより、ちょこバスのルートから外れる下記地域の皆様を対象として、ルート変更の考え方等に関する説明会を実施します。内容は、両日とも同じですので、ご都合の良い日に会場へお越しください。なお、対象地域以外の方の参加も可能です。

対象地域	日	時	会場
清原・新堀地区	6月25日（水）	午前10時から11時30分	清原市民センター 第1・2集会室
	6月28日（土）	午後1時30分から3時	
芋窪地区	6月25日（水）	午後1時30分から3時	蔵敷公民館 101集会室
	6月28日（土）	午前10時から11時30分	

■問合せ 都市建設部 都市計画課 計画調整係  
電話：042-563-2111（内線1256、1257）